

## 再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

<b>事業名</b> 一般国道57号 宇土道路 <small>うとどうろ</small>	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 九州地方整備局
<b>起終点</b> 自：熊本県宇土市城塚町 <small>うとしじょうつかまち</small> 至：熊本県宇土市上網田町 <small>うとしかみおうだまち</small>		<b>延長</b> 6.7km
<b>事業概要</b> 宇土道路は、熊本地域と天草地域の地域間連携の強化、災害に強いネットワークの形成等を目的とした事業である。		
H21年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H26年度用地着手
<b>全体事業費（※1）</b> ：約257億円		<b>事業進捗率</b> ：7%
<b>計画交通量（※1）</b> ：13,900台/日		<b>供用済延長</b> ：0.0km
<b>費用対効果分析結果（※1）</b>	<b>B/C</b> ： (事業全体) 1.3 (残事業) 1.3	<b>総費用</b> ：(残事業)/(事業全体) 198/203億円 (事業費：187/192億円) (維持管理費：11/11億円)
<b>総便益</b> ：(残事業)/(事業全体) 264/264億円 (走行時間短縮便益：188/188億円) (走行経費減少便益：44/44億円) (交通事故減少便益：33/33億円)		<b>基準年</b> ： 平成26年
<b>感度分析の結果（※1）</b> 【事業全体】交通量：B/C=1.1~1.5（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.2~1.5（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.2~1.4（事業期間±20%）		
【残事業】交通量：B/C=1.1~1.6（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.2~1.6（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.2~1.5（事業期間±20%）		
<b>事業の効果等</b> ①広域交通ネットワークの形成 ・熊本県の「90分構想」実現に貢献するとともに、地域高規格道路熊本天草幹線道路の一部を形成 ②観光産業の支援 ・観光施設へのアクセス向上により、滞在時間の増加や観光客の増加など観光産業の活性化を支援 ③災害に強いネットワークの構築 ・特殊通行規制区間（越波）が存在する国道57号現道の代替機能を確保し、災害に強いネットワークを形成 ④医療施設までのアクセス改善 ・第三次救急医療施設（済生会熊本病院）への救急搬送の支援及び救急搬送時間短縮による救命率の向上 ⑤生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO <sub>2</sub> , NO <sub>2</sub> , SPM削減）		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 天草市をはじめとする5市1町で構成される①熊本天草幹線道路整備促進期成会（会長：天草市長）、宇土市長等により構成される②宇土市長、宇土市議会及び同地域高規格道路促進等対策特別委員会（会長：宇土市長）等により早期整備の要望を受けている。（①平成29年8月、②平成29年11月）		
<b>県の意見</b> 今回意見照会のありました一般国道57号宇土道路の事業に関する国の「対応方針（原案）」案については、異存ありません。 この道路は、県が進める「90分構想」の実現や、災害に強い道路ネットワークの形成等に大きく寄与するものです。 今後、より一層事業を推進し、一日も早い完成をお願いします。		
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 審議の結果、事業継続。		

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域の人口は横這い。沿線地域の一世帯あたりの自動車保有台数は横這い。国道57号（現道）の交通量は横這い。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度に事業化、用地進捗率34%、事業進捗率7%（平成29年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や施工等に変更はないが、新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

※1 前回評価結果を用いて記載したもの。